

第4回 練馬区立向山庭園改築懇談会 議事概要

日時：平成21年11月4日（水）午後6時00分～午後8時00分

場所：練馬区役所 本庁舎19階 1903会議室

《議事次第》

- 1 「第3回懇談会議事概要」と「議論のポイントまとめ」の確認《資料1, 2》
- 2 練馬区立について《資料3, 参考1》
- 3 今後のスケジュール《参考2》、その他
- 4 各委員から感想等
- 5 閉会の挨拶
- 6 区民生活事業本部長挨拶

資料1 第3回懇談会議事概要

資料2 第3回懇談会議論のポイントまとめ

資料3 練馬区立向山庭園改築基本構想素案（案）

参考1 向山庭園改築基本構想素案（案）に基づく主な施設内容

参考2 向山庭園改築基本構想策定までのスケジュール

《出席委員（五十音順）》

小宮昌平、角輝政、田中謹之助、田中久美子、
田畑貞寿、明円辰治、依田宗洲、渡邊義雄

《オブザーバー》

指定管理者、設計事務所

《傍聴者》

なし

《事務局等》

区民生活事業本部長、文化国際課文化振興係長、施設管理課長、
公園緑地課建設係長、地域振興課長

《議 事》

開 会

■ 座長

- ・第4回練馬区立向山庭園改築懇談会を開催する。

案 件

1 「第3回懇談会議事概要」と「議論のポイントまとめ」の確認

■ 座長

- ・第3回懇談会の議事録の確認をお願いする。

－第3回懇談会議事概要の確認《資料1》

- ・修正なし。

■ 事務局

－議論のポイントまとめの説明《資料2》

2 練馬区立向山庭園改築基本構想素案（案）について

■ 事務局

－練馬区立向山庭園改築基本構想素案（案）についての説明《資料3》

- ・前回からの変更箇所について
- ・アンケートについて（レイアウトの変更と自由意見の説明）

－向山庭園改築基本構想素案（案）に基づく主な施設内容についての説明《参考1》

- ・敷地利用のイメージについて
- ・配置のイメージについて

■ 座長

- ・では、最終回ということですので、積極的にご意見をお願いいたします。

■ 委員

- ・アンケートによると利用団体の男女比は女性のほうが多いが、使い方によるのだろうか？
- ・利用団体で最も多い世代は20代になっているが、どう考えると良いか？

■ 指定管理者

- ・男女比については、活動内容と相関関係が高いと思われる。茶道などは女性が多い。

■ 事務局

- ・どの世代もほぼ同じくらい使われている。幅広い年代の方に利用されている施設といえる。

■ 指定管理者

- ・撮影会での利用目的の20代の方が最近増えている。
- ・30代、40代の利用はやや少ない。あと1時間、遅くまで使えたと、帰宅途中のサラリーマン、OLの利用も増えるのではないか。

■ 委員

- ・建物の外観図やラフスケッチのようなものがあるとわかりやすかった。

■ 設計事務所

- ・この懇談会は、これから設計を始めるにあたって一番のベースになる部分、一貫して変わらない部分を議論する、という主旨。基本構想というかたちで共通認識をとって、それか

ら設計にあたっていく。

■ 委員

- ・東京には庭園がメインになっている公園もある。向山庭園も、庭園あつての向山庭園という考え方で、他の施設と差別化していくとよい。
- ・池については、水量の低下ではなく、管理しにくい理由ができたということだと思う。
- ・議論については、前回の懇談会でかなりまとめられたような感がある。

■ 事務局

- ・庭園全体の整備はもとより、池の水の整備を重点的に行い、庭園の充実を図っていく。

■ 委員

- ・水面上に建物を建てることは可能か。水面が近いと茶室の雰囲気良くなると思う。

■ 設計事務所

- ・物理的には可能だが、耐震基準など制度上の問題がある。

■ 委員

- ・場所貸しだけでなく、幅広い世代、とくに子供たちに伝統文化を伝えるようなイベントやシステムを新たに考えてほしい。

■ 委員

- ・部材の一部をシンボルとして残すというのは、具体的にどの部分になるのか。部屋に入ったとき、これは従来からあった向山庭園の一部だとわかるようなものがシンボルだと思う。
- ・立礼席は可動間仕切りにすると、利用しやすくなるのではないか。

■ 施設管理課長

- ・どの部分が再利用できるかは現段階で約束できないが、形・用途を変えながら利用できる部分があれば再利用したい。
- ・可動間仕切りも検討していく一方で、格調を上げるためには固定のほうが良い。過不足なく立礼席や多目的スペースなどを検討していき、本格的に利用できる空間にしていく。

3 今後のスケジュールについて

■ 事務局

一向山庭園改築基本構想策定までのスケジュールについての説明《参考2》

■ 副座長

- ・議論は、文言としては今回で出しきったのではないか。
- ・その後、基本設計がまとまった時点で、懇談会の皆さんに案を公表することは可能か？

■ 座長

- ・最終的な実施設計というのではなく、どういう建物ができるか、外観や間取りがどういふふうになっているか、私も皆さんと同じように興味がある。

■ 施設管理課長

- ・通常の手続きとして、実施設計図面を事前に公表することは出来ないが、基本設計の時点でオープンにできることを十分検討して、情報を提供していきたい。

■ 委員

- ・平成24年度のオープンの前に、希望者による内覧会は可能か？

■ 事務局

- ・内覧会は考えている。是非参加していただきたい。

■ 委員

- ・和室1と和室2をふすまで仕切る場合、遮音性が確保できないのでは。使うとき、隣がうるさいと問題が出る。

■ 施設管理課長

- ・和室の趣を保ちつつ、音がさえぎれるように設計や運営方法を検討させていただく。

■ 委員

- ・予約のシステムについてはどのように考えているのか？

■ 事務局

- ・練馬区公共施設予約システムの導入を検討したいと考えている。現在はたとえば練馬公民館や生涯学習施設などにあり、インターネット予約できる。

■ 座長

- ・最終回ということで、今日の議論をふまえ修整等があれば、私と副座長で検討し、最終案を皆さまに送付する。
これまでの感想を各委員からお願いしたい。

4 各委員から感想等

■ 各委員

- ・新しく出来た際には、いろいろな世代の方に活用されることを期待している。
- ・四回出席させていただき、意見も一部取り入れていただき、うれしく思う。
- ・わかりやすく説明してほしい。今は映像の時代なので、字だけでなくイメージもみせてもらいたかった。
- ・建物プランには自分は十分な理解がなかったが、練馬区70万人の資産を共有するという視点で、将来に向かっての検討ができてよかった。
- ・いろいろ皆さんの意見を取り入れて、こんな方法で行けたらいいと思う。周辺への環境配慮や、特殊性を活かすというようなことは重要と思っている。
- ・懇談会でいろいろ申し上げましたが、出来上がるのが大変楽しみです。

■ 副座長

- ・地域の人々に愛される、関心を持ってもらえる施設にするためにも、設計は公表すべきだと思う。そうすると、イメージがふくらみ、より良いものになるかもしれない。皆さまどうもご苦労さまでした。

5 閉会の挨拶

■ 座長

- ・短い期間でしたが、積極的なご意見、提案をいただき、向山庭園の施設内容や運営方針について有意義な提案ができたものと考えている。これも委員の皆さまのより良い向山庭園をつくりたい、という積極的な姿勢の表れであり、皆さまに感謝する。今後設計、工事と進み、現在の建物が生まれ変わり素晴らしい庭園ができるのを、楽しみにしている。

6 区民生活事業本部長挨拶

■ 区民生活事業本部長

- ・向山庭園は全区的な施設であり、唯一の和風施設。規模は大きくはないが、区として大事にしていきたいと思い、このような懇談会を設けさせていただいた。ご要望やご意見は可能な限り設計等に反映していき、今後、広報や周知などを行っていく。熱心なご議論、ありがとうございました。

閉 会